



# 山口育児院だより

編集・発行/社会福祉法人 山口育児院

2022.9. 第46号  
〒753-0082 山口市水の上町5-27 TEL:083-922-1027 FAX:083-922-2389  
e-mail:y-ikuji@estate.ocn.ne.jp URL:http://y-ikuji.Sakura.ne.jp/



## 就任のご挨拶



施設長 岡崎克徳

今年度よりご縁があり、社会福祉法人山口育児院の新しい仲間入りさせていただきました。二十二年の子ども達と二十七年の職員と共に安心安全で笑い声のあふれる居場所を提供できるように精いっぱい尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。

今年度よりご縁があり、社会福祉法人山口育児院の新しい仲間入りさせていただきました。二十二年の子ども達と二十七年の職員と共に安心安全で笑い声のあふれる居場所を提供できるように精いっぱい尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。

## 入園・入学おめでとう

今年も一の坂川の桜の花も満開になり新たな門出を迎えることになった。新しい生活に慣れるまで不安もありなかながら馴染めないかと思う日もありますが、徐々に慣れ今ではそれぞれ毎日楽しんで生活にしております。経験はたくさんして充実した学校生活・幼稚園生活にしてほしいです。

入学式

ドキドキから ワクワクへ

誠英高校 Yさん  
野田幼稚園 Tさん  
大殿中学校 Hさん

藤井

### 資金収支計算書

自令和3年4月1日～至令和4年3月31日

(単位:円)

		本部	施設
事業活動による収支	収入		
	措置費収入	0	168,106,077
	その他の事業収入	0	1,856,560
	経常経費寄附金収入	9,500	941,000
	受取利息配当金収入	111	96,405
	その他の収入	0	1,173,840
	経常収入 計	9,611	172,173,882
支出	人件費支出	198,232	103,616,280
	事務費支出	58,983	6,332,322
	事業費支出	0	20,338,792
	その他の支出	0	625,140
	経理区分間繰入金支出	0	0
	経常支出 計	257,215	130,912,534
	経常活動資金収支差額	-247,604	41,261,348
施設整備による収支	収入		
	施設整備等補助金収入	0	1,767,700
	固定資産売却収入	0	1,000
	施設整備等収入 計	0	1,768,700
支出	設備資金借入金元金償還支出	0	1,320,000
	固定資産取得支出	0	5,542,745
	固定資産除却・廃棄支出	0	0
	施設整備等支出 計	0	6,862,745
	施設整備等資金収支差額	0	-5,094,045
その他の活動による収支	収入		
	積立資産取崩収入	0	542,232
	サービス区分間繰入金収入	240,000	0
	その他の活動による収入	0	0
	財務収入 計	240,000	542,232
	支出		
積立資産支出	0	34,189,066	
サービス区分間繰入金支出		240,000	
その他の活動による支出		564,228	
その他の活動支出 計	0	34,993,294	
	その他の活動資金収支差額	240,000	-34,451,062
	当期資金収支差額 合計	-7,604	1,716,241



令和3年度の決算報告は次の通りです。今後とも宜しくお願い申し上げます。

令和3年度決算報告

### 貸借対照表

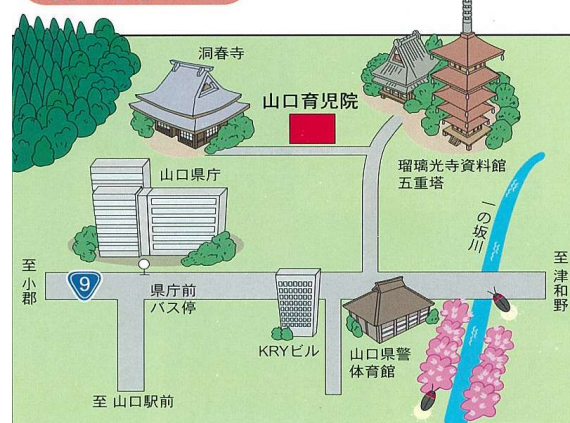
令和4年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	54,704,699	流動負債	10,211,757
固定資産	355,952,427	固定負債	15,246,739
基本財産	111,195,880	負債の部合計	25,458,496
その他の固定資産	244,756,547	純資産の部	
		基本金	61,852,105
		国庫補助金等特別積立金	81,566,298
		その他の積立金	219,251,060
		次期繰越活動収支差額	22,529,167
		純資産の部合計	385,198,630
資産の部合計	410,657,126	負債及び純資産の部合計	410,657,126

194 新年度がスタートして三ヶ月が過ぎ新しい環境にも慣れはじめ、子ども達も達者になってくれています。そんな時期、院の敷地の隅に根を張っている紫陽花の花が今年もきれいに花を咲かせていることに気が付きました。毎年花を咲かせる紫陽花ですが、この時期でないとなかなか意識しないのは私だけでしょうか？

### 案内図



御案内 育児院では、地域の方々に施設を利用していただくために、いろいろなサービスを実施しています。



# 新任職員紹介

吉田 菜々花 児童指導員



今年度から山口育児院に勤めることになりました。吉田菜々花です。私が初めて山口育児院を知ったのは、三年前に大学の実習で受け入れていただいた時です。初めての实習で子どもたちと上手に関わることが出来たのが嬉しかったのですが、子どもたちの方から遊びに誘ってくれたり、話を盛り上げてくれたりしたことに、非常に助けられたことを覚えております。そして、実習の最終日には現在高校三年生の女子児童が「寂しくなるね」と言い、涙を流してくれたことが印象的でした。その時は思わずもらい泣きしてしまったのですが、職員となり、来年の三月には私がその子を見送る側になったのかと思うと非常に感慨深い気持ちになります。

働き始めて早五ヶ月経ちますが、子どもたちが相談を持ちかけてくれるようになったことや、話しやすい職員の皆さんに支えていただきながら働けることに幸せを感じています。これからも、子どもたちと信頼関係を築けるように努力することは勿論ですが、その他の業務にも早く慣れていけるように精一杯頑張りたいと思います。

時田 明人 児童指導員



センザキッチン・元の隅神社・安倍晋三・金子みすゞ・大津あきらのふるさと。長門市出身の四七歳、時田明人と申します。趣味はママチャリで近所をぶらつく事と時代劇鑑賞です。令和四年七月より山口育児院での児童指導員としてお世話になる事となりました。どうぞよろしくお願ひ致します。今まで、私は約十年間、地元長門市内にあります老人福祉施設で介護職員として働いていました。同施設内にあります特別老人ホームやグループホーム、認知症対応型デイサービスなどで実務経験を積み、介護福祉士を取得した後は、入浴・排泄・食事などの日常生活動作(SD)向上を目的とした介護相談員として季節行事やレクリエーション活動の企画調整。利用契約・サービス計画書の作成・担当ケアマネジャーと連携してのモニタリング・国保連への請求業務などに携わって参りました。

今回、令和四年度の社会福祉士国家資格の取得をきっかけに地域福祉の根幹である自助・共助の主体的家庭機能に興味があり児童家庭福祉分野での転職を決意致しました。ノーマライゼーションの理念に代表される「人が成長し自分らしく人生を歩んでいく為の支援過程」をこれからの実務経験の中で学ばせていただきながら、より専門性を高めていければと考えています。入職して二ヶ月ほど経ちますが、毎日子ども達のエネルギーには圧倒され日々の業務には四苦八苦しております。職場の諸先輩方にはいつもご心配とご迷惑をお掛けしております。温かいご配慮に甘える事なく、職務に忠実に取り組み、少しでも施設への貢献が出来れば嬉しいです。至らない点等多々あると思いますが、厳しくご指導・ご叱責賜りながら、どうぞよろしくお願い致します。

## それぞれの おもいで



朝夕も暖かくなつた五月十五日の日曜日の行事を開催しました。今年から新たな試みとして児童職員をグループごとに内容を職員、子どもたちと話し合い計画して行いました。班によっては自転車、小郡まで行き河川敷で野球を楽しみお弁当を食べ温泉に入つたグループもあれば山登りをして喫茶店でスイーツを食べた班もありそれぞれ個性があり子ども達が主体となり体験を積みむことができました。子どもたち同士もお兄さん、お姉さんが下級生のお世話をしたり譲りあったりと心暖かな場面も多数見ることができました。今後子どもたち、職員が主体となれる場を増やしていきたいと思っております。

藤井

北村 小春 保育士



この度入社しました北村小春と申します。山口育児院の施設保育士として勤めさせていただくことになりました。出身は、山口芸術短期大学の保育学部を卒業しました。大学では、幼児教育コースを専攻しており、主に子ども総合研究に取り組みました。学生時代は、バスケットボールサークルに所属しコロナ禍の中で時間を作り練習に励みました。趣味は、カラオケや父とたまにするビリヤードです。食べることも好きですが、休前日の夜に飲むお酒が好きです。強くはないですが、楽しみの一つです。

入社して五ヶ月が経ち、最初は施設の子どものような関わり方が正解なのか分からず、不安でした。ですが、職員の方々と色々話しているうちに、きっかけがつかめそうな気がしています。子どもと深くかかわり、自立に向けてサポートし保護者の代わりの存在に近づいていけるようにこれからも頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

松島 正 児童指導員



永く高校の教壇に立ち歴史を教えてきました。北九州の高校で教員をしていた今年の六月、同じように燃えるような夏を迎えようと思っていた矢先、母が心筋梗塞、父にも肺の病が発覚し、急遽地元に戻らなければならなくなりました。クラスの生徒たちや世話になった同僚たちと離れなければならないことは辛く寂しく、後ろ髪を引かれる思いでした。地元に戻った私は縁あってこの山口育児院に勤めさせていただくことになりました。意気消沈していた私は大きく歓喜する一方で、教育現場しか知らず、児童福祉の世界は未知の世界で初めてでもあり、ただ黒板を背に授業をしてきただけの私にとっては試行錯誤の連続であろうことは想像に難くありませんでした。ただ教育も児童福祉も、児童・生徒に寄り添い関わってゆくことにおいては、技業に違いはあっても根幹たる大本は一緒であると感じています。教壇に立っていた時分に常に心に銘記していたのは「幸せな子を育てるのではなく、どのような境遇におかれても幸せになれる子を育てる」という指針だけは堅持してきたつもりです。育児院での生活もこの点だけは堅守して日々の業務・子ども達への関わりに活かしてゆこうと着任いたしました。

現在、先輩職員に迷惑をかけてばかりですが、充実した時間の流れの中に身を置き、新たに新鮮な帰属意識の中で勤務しています。私には誇りに思うことがあります。それは職員の方々が個々の個性を持って爽やかな慈眼と共に勤務されていることです。子ども達の将来を見据え、真摯に情熱をもって多くの課題を抱えている子たちに寄り添って大いに感嘆させられます。これには惰眠を貪り、易きに流れやすい自分を顧みて、大いに感嘆させられます。少しでも先輩職員の姿勢を吸収して、子ども達から信頼されるよう頑張つてゆきたいです。

## 他職種連携？



上の写真は先日の職員会議での一コマです。心理士による職員の心のケアをしています。今回は「感謝」がキーワードでした。自分自身、身近な人などにかく「ありがとう」と、心の中で唱えました。児童養護施設の心理士は児童の心理ケアの仕事ほかに、実は職員の心理ケアも担ってくれています。やわらかい心で、余裕をもって子ども達と生活することは大切ですね。

河野

## 落語の面白さ・笑いを届けに...

月亭方正 さん  
どさけん さん



六月十六日、落語家の月亭方正さん、山口県住みます芸人のどさけんさんが来院されました。子どもたちも、有名の方々が来院されたことが緊張気味でしたがどさけんさんが場を温められ和やかな雰囲気になった所で方正さんがステージに上がられました。

いつもテレビで見ると有名人を目の前にして子どもたちはおもしろい、方正さんからは落語について丁寧な説明を受けたり、落語講座を開いていただき、落語について知るとも良い一日になりました。月亭方正さん、どさけんさんありがとうございました。

藤井